

「(都)元町人麿線(2工区)法定説明会」での市報に掲載したもの以外のご意見・ご質問とその回答一覧

説明会開催日:令和 7 年 5 月 14 日(水)

開催場所:益田市立市民学習センター 1 階 多目的ホール

ご意見・質問内容:令和 7 年 5 月 21 日(水)時点

No	主な意見・質問	回答
1	通学路の交通について 元町人麿線が完成すれば、迂回路として利用され、通学路の交通量が緩和されるとの説明がありましたが、地区住民に説明する際にも利用したいので、その効果を具体的な数値で知りたいです。	具体的な数値は現在ありません。元町人麿線の整備により、益田中学校周辺の交通が新たな道路に分散することで、現在の通学路での歩行者、自転車、車の錯綜状況が緩和されると考えています。
2	立ち退きの要望について 立ち退きが出来るのであれば、一部の住民を山の上に残すようなことをしないで、皆一緒に立ち退きさせていただきたいです。	まずは、測量やボーリング調査をさせていただき、こういった形状で山を開削するのか詳細な検討をいたします。 また、工事だけではなく、この道路ができた後に、地域の皆様が安心して生活できるような形にきちんとしていきたいと思っております。
3	工事関係者について 工事によって、他県からの作業員や外国人労働者が多くなることで、地域の治安悪化が懸念されます。 工事関係者の身元や作業内容を事前に把握し、トラブルを未然に防ぎたいです。	工事関係者については、事前に自治会を通じて回覧板等で情報を共有することを考えています。 また、工事関係者に対しては、県が指導を行い、適切に管理いたします。
4	測量範囲について 測量の範囲をどの程度まで想定されていますか。 測量の範囲や、工事に影響がある範囲はどのように考えていますか。	測量の範囲につきましては、色々な工事車両が通行することも想定し、少し広めに現地を測量する予定にしております。 測量範囲は事前に回覧板等で住民に共有することを考えています。
5	住民との相談記録について 元町人麿線の話は大変昔から出ていると思いますが、これまでの住民とのやり取りや相談した内容は、記録として取り、現在も残っているのでしょうか。	全てが記録として残っているわけではありませんが、説明会での話し合いの記録や、個人で何回かお越しいただいた方の具体的なご相談、お話等の記録は基本的に残っています。
6	工法の変更(山の開削をトンネルに変更)について 山の開削区間をトンネルに変更することはできませんか？工事費、用地買収費等のコストも低くなると思います。	山の開削区間の西側に交差点が出来る計画であり、トンネル出口から交差点の距離が近く、交通安全上の問題を考慮して山を開削する計画としています。